

| | | | |
|--------------------|--|--|------------------------|
| 開講年度 | 令和6年度 | 開講課程 | 博士後期課程 |
| 授業名 | 臨床医学特講 | | |
| 開講キャンパス | 紀三井寺 | 教室 | 基礎教育棟3階講義室3 中講義室303 |
| 科目区分 | 専門科目 | 配当年次 | 1年次 |
| 必修・選択の別 | 選択 | 単位 | 1単位 |
| 対象学生 | — | 使用言語 | 日本語 |
| キーワード | 神経変性疾患、救急集中治療医学、変形性膝関節症のメカニズム、新興感染症、気道炎症、膵癌、糖代謝、小児心身症 | | |
| 担当教員 (下線：科目責任者) | 医 | 教授 小泉祐介、講師 北畑裕司、講師 中山宜昭、講師 田村 彰、准教授 上田健太郎、 <u>准教授 中西正典</u> 、准教授 森田修平、講師 福井大輔 | |
| | 薬 | | |
| 授業の概要 | 臨床医学の各分野におけるより高度な知識や最近の話題などについて幅広く学び、各疾患等における最新の知見を修得することにより、生命医療科学研究や高度先進医療・地域保健医療の推進に寄与できる能力を養う。 | | |
| 到達目標 | <input type="checkbox"/> 神経変性疾患の病態について高い知識レベルで理解する。 <input type="checkbox"/> 重症患者における救急集中治療医学の重要性を高いレベルで理解する。 <input type="checkbox"/> 変形性膝関節症が生じるメカニズムや、膝関節温存治療・人工膝関節手術の近年の動向について高いレベルで理解する。 <input type="checkbox"/> 新興感染症、院内感染症など臨床的に重要な感染症に関する最新の知見を修得する。 <input type="checkbox"/> 気道疾患における気道炎症の評価の方法を修得する。 <input type="checkbox"/> 膵癌治療における最新の動向を理解する。 <input type="checkbox"/> インスリン分泌を含む糖代謝制御機構と病態への関わりを理解する。 <input type="checkbox"/> 小児心身症の成因と対処方法を理解する。 | | |
| 授業計画 | <p>1. 臨床的に重要な感染症に関する最新の知見（小泉祐介／1回）【10/8 6限】 新興感染症、院内感染症など臨床的に重要な感染症に関する最新の知見を修得する。</p> <p>2. 長期生存を目指した膵癌治療戦略の開発（北畑裕司／1回）【10/8 7限】 膵癌の病態と治療について概説する。また、予後改善のための最新の膵癌治療戦略について解説する。</p> <p>3. 神経変性疾患の病態（中山宜昭／1回）【10/15 6限】 神経変性疾患の臨床像，病理について解説し，その発症メカニズムについて解説する。</p> <p>4. 小児心身症の最近の動向（田村 彰／1回）【10/15 7限】 小児心身症を引き起こす生物学的要因、社会環境要因、トラウマ要因を分析し、分析結果に基づいた対処方法についての理解を深める。</p> <p>5. 救急集中治療医学における最近のトピック（上田健太郎／1回）【10/22 6限】 救急・集中治療医学の総論を解説し、最近の注目すべき動向について考察し、理解を深めていく。</p> <p>6. 気道炎症の生化学的・生理学的モニタリング（中西正典／1回）【10/22 7限】 喘息など気道疾患における気道炎症の評価やモニタリングの方法を解説する。</p> <p>7. 糖代謝制御機構とその臨床応用（森田修平／1回）【10/29 6限】 糖代謝制御機構とその臨床応用につき理解する。</p> <p>8. 変形性膝関節症における軟骨変性の病因と近年の治療（福井大輔／1回） 【10/29 7限】 変形性膝関節症について概説し、発症メカニズムや再生医療を含めた膝関節温存治療や人工関節手術について近年の動向を解説する。</p> | | |

| | |
|-------------------------|---|
| 授業の方法・形態 | 講義を中心とする。 遠隔会議システムを利用した同時配信を行う。 |
| 使用するメディア | パワーポイント等によるスライド資料を使用する。 |
| 成績評価の基準 | 授業への取組20%（発問に対する応答や発言内容、主体的・積極的な受講姿勢）及びレポート80%によりS（90点以上）、A（80～89点）、B（70～79点）、C（60～69点）、D（59点以下）の5段階で評価し、C以上を合格とする。 |
| 授業時間外の学修に関する指示 | 教科書・参考書が指定されている場合は予習を行うとともに、各回終了後には復習を行うこと。そのほか、各担当教員の指示に従うこと。 |
| オフィスアワー（学生からの質問事項等への対応） | 担当教員により異なるため、希望する場合はメール又は電話により予約すること。 |
| 教科書・参考書 | <p>【教科書】 授業計画 1 「Mandell, Douglas, and Bennett's Principles and Practice of Infectious Diseases, 9th edition」 著者：John E. Bennettら 出版社：Elsevier</p> <p>授業計画 2・5・8 特に指定しないが、担当者が作成した資料を配布する。</p> <p>【参考書】 授業計画 1 「Clinical Microbiology Reviews」 出版社：American Society of Microbiology Press</p> <p>授業計画 5 「救急診療指針 改訂第5版」 監修：日本救急医学会 出版社：へるす出版</p> |